

2023年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 サイタホールディングス株式会社
 コード番号 1999 URL <https://saita-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 才田 善之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平山 繁之
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
 TEL 0946 22 3875

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	1,291	5.3	74	94.0	98	39.3	67	101.6
2022年6月期第1四半期	1,226	2.2	38	51.7	70	32.9	33	45.4

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 52百万円 (70.9%) 2022年6月期第1四半期 30百万円 (42.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	107.59	
2022年6月期第1四半期	53.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第1四半期	7,133	4,285	60.1	6,798.22
2022年6月期	7,142	4,270	59.8	6,773.51

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 4,285百万円 2022年6月期 4,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		60.00	60.00
2023年6月期					
2023年6月期(予想)		0.00		60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.3	400	31.0	470	41.2	300	41.2	475.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料〇ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期1Q	661,000 株	2022年6月期	661,000 株
期末自己株式数	2023年6月期1Q	30,588 株	2022年6月期	30,588 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期1Q	630,412 株	2022年6月期1Q	630,452 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. 四半期建設事業受注の概況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかに回復する動きも見られました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢等の地政学的リスクによるエネルギー問題や原材料価格の高騰が懸念されるなど、社会経済活動の本格回復は依然として不透明な状況となっております。

当社グループの主力事業であります建設業界は、新型コロナウイルス感染症による影響が比較的軽微であったこともあり、公共投資は堅調に推移いたしました。ただし、今後も原材料価格の上昇による建設コストの高騰や建設技術者不足による労務費の高止まり等も続いておりますので、経営環境は依然として不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、碎石製品等の販路拡張にまい進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は12億9千1百万円（前年同四半期比5.3%増）となり、営業利益7千4百万円（前年同四半期比94.0%増）、経常利益9千8百万円（前年同四半期比39.3%増）となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6千7百万円（前年同四半期比101.6%増）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として完成工事高が下半期、特に第3四半期に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期までの売上高の割合が低くなるといった季節的変動があります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第1四半期連結累計期間の受注高は8億6千万円（前年同四半期比31.5%増）、完成工事高は5億5千8百万円（前年同四半期比16.0%減）、営業利益は5千1百万円（前年同四半期比33.6%減）となりました。

(碎石事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は5億4千8百万円（前年同四半期比24.6%増）、営業利益は7千2百万円（前年同四半期比410.8%増）となりました。

(酒類事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は9千7百万円（前年同四半期比182.7%増）、営業損失は7百万円（前年同四半期は営業損失1千1百万円）となりました。

(その他の事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は8千6百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益は1千万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は41億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千1百万円減少いたしました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が1億6千6百万円減少いたしました。現金預金が1億1千4百万円増加したことによるものであります。

固定資産は29億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千2百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が5百万円減少いたしました。有形固定資産が3千8百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、71億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は24億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主に未払費用が8千5百万円減少いたしました。未成工事受入金が1億円増加したことによるものであります。

固定負債は4億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ3千万円減少いたしました。これは主に長期借入金3千5百万円減少いたしました。退職給付に係る負債が5百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、28億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千4百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は42億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千5百万円増加いたしました。これは主に配当金3千7百万円の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益6千7百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.1%（前連結会計年度末は59.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期決算発表時（2022年8月19日）に公表した通期の業績予想については現時点での変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,362,133	2,476,963
受取手形・完成工事未収入金等	1,574,181	1,407,188
棚卸資産	218,395	207,597
その他	44,453	66,039
流動資産合計	4,199,162	4,157,788
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	248,503	249,742
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	620,422	657,857
土地	832,729	832,729
リース資産(純額)	8,374	7,881
その他	6,990	6,990
有形固定資産合計	1,717,019	1,755,201
無形固定資産		
採石権	10,996	10,696
その他	2,663	2,663
無形固定資産合計	13,659	13,359
投資その他の資産		
投資有価証券	386,564	390,269
保険積立金	257,977	260,699
繰延税金資産	38,127	26,668
退職給付に係る資産	107,696	99,054
その他	482,837	491,082
貸倒引当金	△60,922	△60,922
投資その他の資産合計	1,212,280	1,206,851
固定資産合計	2,942,959	2,975,412
資産合計	7,142,122	7,133,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	270,990	255,475
短期借入金	1,503,455	1,493,015
リース債務	2,157	2,160
未払費用	156,708	71,317
未払法人税等	67,472	11,364
未成工事受入金	224,318	324,965
工事損失引当金	—	18,600
賞与引当金	10,100	40,400
その他	195,701	219,815
流動負債合計	2,430,904	2,437,115
固定負債		
長期借入金	231,180	195,260
リース債務	7,080	6,539
繰延税金負債	8,881	8,282
退職給付に係る負債	143,785	149,084
役員退職慰労引当金	46,352	47,403
その他	3,835	3,835
固定負債合計	441,114	410,404
負債合計	2,872,018	2,847,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	594,558	594,558
利益剰余金	2,892,366	2,923,434
自己株式	△35,934	△35,934
株主資本合計	4,393,940	4,425,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,499	11,139
為替換算調整勘定	△134,336	△150,468
その他の包括利益累計額合計	△123,837	△139,328
純資産合計	4,270,103	4,285,680
負債純資産合計	7,142,122	7,133,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高		
完成工事高	664,467	558,418
兼業事業売上高	561,733	732,848
売上高合計	1,226,201	1,291,266
売上原価		
完成工事原価	525,336	472,752
兼業事業売上原価	469,779	514,958
売上原価合計	995,116	987,710
売上総利益		
完成工事総利益	139,130	85,665
兼業事業総利益	91,954	217,890
売上総利益合計	231,085	303,556
販売費及び一般管理費	192,665	229,020
営業利益	38,419	74,535
営業外収益		
受取利息	56	65
受取配当金	68	26
固定資産賃貸料	6,668	6,394
為替差益	10,468	14,069
持分法による投資利益	18,168	9,204
受取保険金	1,115	—
その他	3,513	1,466
営業外収益合計	40,058	31,227
営業外費用		
支払利息	3,715	3,689
貸倒引当金繰入額	781	—
支払保証料	1,715	1,151
その他	1,877	2,862
営業外費用合計	8,090	7,704
経常利益	70,386	98,059
特別利益		
固定資産売却益	4,499	9,179
特別利益合計	4,499	9,179
特別損失		
減損損失	—	897
役員退職慰労引当金繰入額	23,462	—
特別損失合計	23,462	897
税金等調整前四半期純利益	51,424	106,341
法人税、住民税及び事業税	6,527	27,728
法人税等調整額	11,256	10,786
法人税等合計	17,783	38,515
四半期純利益	33,641	67,825
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,641	67,825

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	33,641	67,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,303	629
為替換算調整勘定	△9,520	△16,131
持分法適用会社に対する持分相当額	1,203	10
その他の包括利益合計	△3,012	△15,491
四半期包括利益	30,628	52,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,628	52,334
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年7月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	664,467	440,158	34,616	1,139,242	79,380	1,218,622	-	1,218,622
その他の収益(注) 4	-	-	-	-	7,578	7,578	-	7,578
外部顧客への売上高	664,467	440,158	34,616	1,139,242	86,959	1,226,201	-	1,226,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,261	36,666	256	42,184	13,118	55,303	△55,303	-
計	669,728	476,825	34,873	1,181,426	100,077	1,281,504	△55,303	1,226,201
セグメント利益又は 損失(△)	77,238	14,154	△11,510	79,882	12,153	92,035	△53,616	38,419

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額53,616千円には、セグメント間取引消去463千円、各報告セグメントに配分していない全社費用54,080千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益7,578千円は、不動産事業の売上高であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	558,418	548,303	97,867	1,204,589	79,255	1,283,844	-	1,283,844
その他の収益(注) 4	-	-	-	-	7,422	7,422	-	7,422
外部顧客への売上高	558,418	548,303	97,867	1,204,589	86,677	1,291,266	-	1,291,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,439	9,945	309	15,694	10,172	25,867	△25,867	-
計	563,857	558,249	98,177	1,220,283	96,850	1,317,134	△25,867	1,291,266
セグメント利益又は 損失(△)	51,285	72,306	△7,806	115,784	10,805	126,589	△52,054	74,535

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額52,054千円には、セグメント間取引消去4,960千円、各報告セグメントに配分していない全社費用47,093千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益7,422千円は、不動産事業の売上高であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、機械、運搬具及び工具器具備品並びに投資その他の資産その他に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては897千円であります。

3. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受 注 高	
	千円	%
2023年6月期第1四半期累計期間	838,527	32.9
2022年6月期第1四半期累計期間	631,176	△37.8

- (注) 1. 受注高は、当該四半期までの累計額であります。
 2. パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			2023年6月期 第1四半期累計期間		2022年6月期 第1四半期累計期間		比較増減 千円	増減率 %
			千円	%	千円	%		
建設事業	土 木	官 公 庁	828,375	98.8	534,427	84.7	293,947	55.0
		民 間	6,837	0.8	60,547	9.6	△53,709	△88.7
		計	835,212	99.6	594,974	94.3	240,237	40.4
	建 設	官 公 庁	755	0.1	26,000	4.1	△25,245	△97.1
		民 間	2,560	0.3	10,202	1.6	△7,642	△74.9
		計	3,315	0.4	36,202	5.7	△32,887	△90.8
	合 計	官 公 庁	829,130	98.9	560,427	88.8	268,702	47.9
		民 間	9,397	1.1	70,749	11.2	△61,351	△86.7
		計	838,527	100.0	631,176	100.0	207,350	32.9

- (注) パーセント表示は、構成比率であります。